

ずっと大府
もっと大府

大府市議会議員

ふじもと宗久

政治活動新聞

令和3年夏号



安全で住みやすいまちづくり

市と県の議員連携が奏功

日々皆さまからのご要望のなかで、大府市単独では解決できないものも多くあります。県が絡む事案に対しては、大府市選出の日高章県議と連携して対処しております。今回、その事例をいくつかご紹介いたします。

あいち健康の森公園
地面の起伏補修

県営あいち健康の森公園内、交流センター付近の地面が凸凹していて、とても歩きにくく、散歩やウォーキングの際に、躓いたりすることもありました。これを改善すべく、画像を添えて日高県議を経由して、県の公園管理部署に申し入れを行いました。

お気付きの方もいらっしゃるかと思います。この三月に補修工事が完了し、現在は平らな地面を取り戻しています。



平らに補修された交流センター(あいち健康の森公園内)

また、この事業に引き続き、同公園内の器具、遊具の点検・改修も行いました。あいち健康の森は、愛知県森公園を安全に楽しくご利用いただくためのご意見をお寄せください。

この事業が完了した後は、都市計画道路荒尾大府線(県道長草東海線バイパス、県道東海線以西)の事業着手が約束されています。長草地区の道路整備が前進しています。現在進めている知多半島道路大府下りPAの新設、白紗池周辺整備も含めて、ご期待ください。

また、この事業に引き続き、同公園内の器具、遊具の点検・改修も行いました。あいち健康の森は、愛知県森公園を安全に楽しくご利用いただくためのご意見をお寄せください。

この事業が完了した後は、都市計画道路荒尾大府線(県道長草東海線バイパス、県道東海線以西)の事業着手が約束されています。長草地区の道路整備が前進しています。現在進めている知多半島道路大府下りPAの新設、白紗池周辺整備も含めて、ご期待ください。

また、この事業に引き続き、同公園内の器具、遊具の点検・改修も行いました。あいち健康の森は、愛知県森公園を安全に楽しくご利用いただくためのご意見をお寄せください。

- 令和3年上半期の主な活動**
- 1月 森岡八幡社、江端八幡社神事、知多北部議員研修会、活動報告書(春)配布
 - 2月 ウエルネスバレーセミナー、森岡神社神事、盆梅展、森岡公民館作品展
 - 3月 議会(3月定例会、臨時会)、市美展
 - 4月 石ヶ瀬自治区総会、石ヶ瀬コミ文化部顔合わせ、第1回横断者優先運動、第3回一期生議員勉強会、3.11 犠牲者追悼イベント
 - 5月 議会臨時会、自民クラブ総会、コロナ対策要望書提出、知北公園組合臨時会、ワクチン予約状況調査、鈴木バイオリンコンサート、簿記3級試験合格
 - 6月 議会(6月定例会)、議員トークショー、第2回横断者優先運動、自民党街宣



地元住民代表、日高県議と要望書を提出しました(知多建設事務所)

鞍流瀬川沿いの生活通路の安全対策

終山町二丁目地内(子どもステーション裏手)の鞍流瀬川沿いの生活通路について、近隣住民の方から安全対策(舗装化、照明設置、車両侵入阻止)の要望がございました。

紙面と文字を大きくしました

皆さまからの声を参考に、紙面サイズを新たにしました。これからは様々な活動状況をわかりやすくお伝えしてまいります。

ウエルネスバレー

医福工連携セミナーを受講



長寿医療研究センター 教育研修棟前にて(2月)

医療の立場からは、近藤和泉長寿研ロボットセンター長が、介護現場へのテクノロジーの普及について講演されました。介護ロボットは、技術開発が進化している一方で、現場での効果的活用はまだ課題があるということでした。

福祉の立場からは、特養メドック東浦の吉田禎宏理事長による、介護現場の実態についてのお話でした。実際に介護支援ロボットを導入したものの、使い勝手や効率面で使いこなせることができなかった例が紹介され、介護を人手からロボットに置き換えることの難しさを認識しました。

工業の立場で、シンフォニア・プロパティーマネージメント(株)の張耀光社長から、AIロボット「Kebdi」の紹介がありました。「Kebdi」が介護施設で受付を行っているという実証中の事例を聴くことができました。尚、「Kebdi」は、大府市のICT教育でも登場しており、大府小、大府南中で実証授業が行われました。

令和3年度
議会人事

常任委は総務委員会(副委員長)
自民クラブでは幹事長に

去る5月に開催された臨時議会にて、令和3年度の議会人事が承認、決定されました。議員になって3年目は、総務委員会の所属となり、副委員長を拝命いたしました。このほか、議会運営委員、議会広報委員も兼任いたします。さらに、公設の斎場・霊園を運営している知北平和公園組合議員の指名を受けました。

知多半島初の「キッズゾーン」 藤池公園周辺に設置



本年3月に藤池公園(江端町)周辺に、知多半島で初めてとなる「キッズゾーン」が設置されました。「キッズゾーン」とは、令和元年5月に滋賀県大津市で、保育園の園外活動中に突っ込んできた自動車により園児が亡くなるという、大変痛ましい事故を受け、国によって創設されました。

この地域は、終山保育園、石ヶ瀬保育園、ジーニアス幼稚園の散歩コースになっているほか、石ヶ瀬小学校、子育て支援施設など、子ども関連施設が集中しています。今回、藤池公園周辺市道をキッズゾーンに設定し、グリーンベルト、路面標示、標識を設置し、自動車運転者に注意を喚起します。皆さまのご理解と安全対策をよろしく願います。

「大府を『信号機のない横断歩道での一時停止率、日本一のまち』にしよう」と、月見町に本部を置く「安全環境推進クラブ(きぎはし)」の代表者木信雄さんが声を上げました。

昨年テレビで、信号機のない横断歩道の一時停止率No.1が72.4%の長野県であることが報道されており、長野県がなぜ長野県は一時停止率がそれほど高いのか、それは児童、生徒の多くが、停止して見た運転者に対してきちんとお辞儀をすることが習慣づけられていることによるものだとのこと、大いに感銘を受けました。

そこで私も階(きぎはし)活動員として活動に協力を申し出、本年4月から月一回、大府駅西の横断歩道で運動を行うことにしました。

人間環境大学の学生さんや警察、大府市、自治区等の協力もいただきながら活動してまいります。



横断者優先運動の活動風景
大府駅西口、豊田自動織機大府工場前

「子ども110番の家」とは、子どもが助けを求めて駆け込んできたときに、その子どもを保護し、場合によっては警察に通報するということをしてくれる家のことです。ご協力いただける方は、市の危機管理課、または私宛ご連絡ください。

地域の安全対策として 横断者優先運動を展開中

「子ども110番の家」とは、子どもが助けを求めて駆け込んできたときに、その子どもを保護し、場合によっては警察に通報するということをしてくれる家のことです。ご協力いただける方は、市の危機管理課、または私宛ご連絡ください。

石ヶ瀬川右岸の緑道整備 森岡一丁目地内、石ヶ瀬人道橋～平成橋



本年3月石ヶ瀬川右岸、ちようど石ヶ瀬小学校の対岸沿いの緑道が整備されました。

この緑道は、令和元年秋に森岡公民館で開催された「岡村市長との懇談会」の場で、参加された住民の方から要望されたものから要望されたものでした。供用開始が桜の開花時期と重なり、対岸から眺める桜がともきれいでした。是非、ご自身がウォーキングコースの一つに加えてみてはいかがでしょうか。

尚、令和3年度には、同じく石ヶ瀬川右岸、森岡橋から下流に向けて、深田ポンプ場あたりまでの緑道整備事業が着工します。川底を対岸に渡れる置き石も整備されます。こちらの方もどうぞ楽しみにしてください。

毎年3月11日前後に行われてきたこの催しが、今年も雨天順延となり、4月3日の開催となりました。順延となったことで、初めて灯火と満開の桜を同時にみることで、喜び、感慨もひとしおでした。

主催の「蜻蛉の会」が解散することとなり、最後の灯火イベントとなりましたが、しっかりと心に刻みこみました。

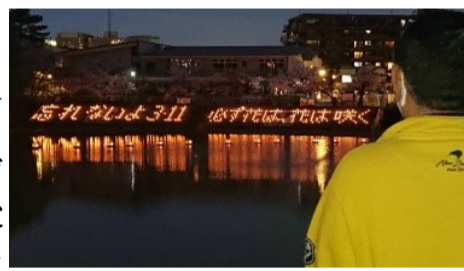
東日本大震災を教訓に、防災、減災についてもしっかりと取り組んでまいります。



子ども110番の家を表示するコーン

「子ども110番の家」とは、子どもが助けを求めて駆け込んできたときに、その子どもを保護し、場合によっては警察に通報するということをしてくれる家のことです。ご協力いただける方は、市の危機管理課、または私宛ご連絡ください。

東日本大震災犠牲者 追悼灯火の催しに参加



忘れないよ3.11 必ず花は花は咲く
(新池にて)

市議会6月定例会において、一般質問に立ちました。今回は、長い間事業が凍結状態となっている「都市計画道路健康の森線」の大府森岡交差点から月見町五丁目までの未整備区間について、市側の見解を伺いました。

大府市では今春の組織改編で、二名の副市長を置くこととし、大府駅周辺のまちづくりを推進していく体制を整えました。私は、大府駅周辺のにぎわいを創出するため、都計健康の森線を整備し、健康の森公園を中心とするウェルネスバレー地区を訪れる人の多くに、大府駅を経由していただくように誘導することの有効であると考えました。

大府駅からウェルネスバレーまでを快適に歩けるウォーキングロードの整備や、この区間を頻繁に往復する次世代型新公共交通システムなどを走らせるという案です。

徹底したバリアフリー、ユニバーサルデザイン、そしてSDGsの取り組みをふんだんに取り入れた「平坦・簡単・最



大府駅西交差点にて

6月議会の一般質問 「ずっと住み続ける大府市が もっと明るく豊かになるために」

市議会6月定例会において、一般質問に立ちました。今回は、長い間事業が凍結状態となっている「都市計画道路健康の森線」の大府森岡交差点から月見町五丁目までの未整備区間について、市側の見解を伺いました。

大府市では今春の組織改編で、二名の副市長を置くこととし、大府駅周辺のまちづくりを推進していく体制を整えました。私は、大府駅周辺のにぎわいを創出するため、都計健康の森線を整備し、健康の森公園を中心とするウェルネスバレー地区を訪れる人の多くに、大府駅を経由していただくように誘導することの有効であると考えました。

大府駅からウェルネスバレーまでを快適に歩けるウォーキングロードの整備や、この区間を頻繁に往復する次世代型新公共交通システムなどを走らせるという案です。

徹底したバリアフリー、ユニバーサルデザイン、そしてSDGsの取り組みをふんだんに取り入れた「平坦・簡単・最



自民クラブ全員で要望書を提出。その後、皆さまの声や実情など、意見交換を行いました。
市役所市長室にて(5月6日)

新型コロナウイルス対策追加施策
会派で要望書を提出

コロナ禍が長期化する中、市民の安心した暮らしを取り戻すための追加施策案を自民クラブとして取りまとめ、4月末に岡村市長宛に提出いたしました。

内容といたしましては、本市独自の子育て世帯生活支援特別給付金支給、ワクチン接種進捗の見える化、孤立対策強化、CO2濃度測定器設置促進補助金、テイクアウト用エコ素材容器の補助金などを要望いたしました。